

日本動物看護学会 第62回例会・第3回宮崎例会 開催報告

本例会の宮崎県での開催も今回で3回目となり、昨年度同様に宮崎県獣医師会主催の「第6回小動物臨床部会研修会・動物看護師向けセミナー」との同時開催という形で実施された。参加人数は60名で、現役の動物看護師が15名、学生が32名、その他に獣医師などが13名と盛会であった。

今回は獣医師であり、どうぶつの総合病院の行動診療科で実際に問題行動の治療をされている国内での動物行動治療の第一人者である入交眞巳先生により、「犬と猫の行動を理解し、問題行動を考える」というテーマでご講演をいただいた。講演は犬や猫の正常行動について知ることから始まり、実際の症例を交えた大変興味深い内容であった。そして、講演での事例は実際に臨床の現場で日々遭遇するであろうことであり、実際の事例を紹介していただきながら、非常に理解しやすく有意義なものであった。

参加者からも実際の現場でよく遭遇する事例が数多く紹介され、非常に勉強になったというご意見や、似たような事例でも個体によって全く対応が異なり、問題行動に対する対応の難しさを改めて知ったとの声をいただいた。また、講演の休憩時間にはひっきりなしに入交先生に質問をする参加者の姿が見られ、参加者からは多くの満足の声が聞かれた。

やはり、東京などの都市部と異なり、セミナーなども限られている宮崎での例会の開催は現場の動物看護師や動物看護士を目指す学生たちにとって大変貴重な機会であると思われた。今後も宮崎例会は宮崎県獣医師会との共催で定期的に行なわれてゆけばと考えている。

